



越路 1987 11/1

1987
11/1
No.272

発行 / 越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL (0258) 92-3111 ■ 印刷 / 大川印刷株式会社

新嘗祭に 越路の粟を献上

田中才市(飯塚)さんは、県内の農家を代表して粟を栽培。十一月宮中で行われる新嘗祭に献上される粟の刈取りが九月十六日行われました。たわわに実った穂が垂れ下がる八畝の畑から収穫された粟〇・九リットルが十月二十八日皇居において田中さんか

ら陛下へ献上されました。



住民基本台帳人口 (19年時点)	3,353	-4
世帯数	14,564	-16
人口	7,091	-8
内訳	7,473	-8



11月 広報カレンダー

1日		17日	心配ごと相談 (1:30~4:00 福祉センター)
2月		18日	高齢者職業紹介 (1:30~3:00 福祉センター)
3日	文化の日	19日	
4日	心配ごと相談 (1:30~4:00 福祉センター)	20日	行政相談 (10:00~2:00 役場)
5日	1歳6か月検診 (1:30~2:00 福祉センター) 3歳児検診 (2:30~2:30 福祉センター)	21日	母親学級、母子手帳発行日 (9:00~9:30 役場)
6日	1歳6か月検診 (1:30~2:00 浦区事務所) 3歳児検診 (2:00~2:30 浦区事務所)	22日	
7日	母親学級、母子手帳発行日 (9:00~9:30 役場)	23日	勤労感謝の日
8日		24日	家庭看護教室 (1:00~1:15 勤労者会館) 心配ごと相談 (1:30~4:00 福祉センター)
9日	1歳6か月検診 (1:30~2:00 岩塚農協) 3歳児検診 (2:00~2:30 岩塚農協) 乳児検診 (1:30~2:30 福祉センター)	25日	
10日	1歳6か月検診 (1:30~2:00 塚野山集落センター) 3歳児検診 (2:00~2:30 塚野山集落センター) 心配ごと相談 (1:30~4:00 福祉センター) 乳児検診 (1:30~2:30 岩塚農協)	26日	
11日	精神衛生相談 (2:00~3:00 福祉センター)	27日	糖尿病教室終了者の集い (1:30~ 福祉センター) 犬猫の引取り (10:30~11:00 役場、くわしくは住民課)
12日	くらしと税金展 (15日まで ダイエー長岡店)	28日	
13日	高血圧教室 (9:30~9:45 飯島区事務所)	29日	
14日		30日	
15日	七五三	12/1日	健康づくり懇談会 (1:30~ 岩野集落センター)
16日		12/2日	健康づくり懇談会 (1:30~ 婦人研修センター)
		12/3日	健康づくり懇談会 (1:30~ 東谷集落センター)
		12/4日	健康づくり懇談会 (1:30~ 飯島区事務所)

古文書解読講座(後編)
 期日 十一月十日(十二月十一日の間に五回実施)
 午後七時半~九時
 会場 町総合福祉センター
 講師 越路中学校長 利夫先生
 申し込み 十一月九日(月)までに町教育委員会へ

社交ダンス講習会
 期日 十一月六日(十二月八日、毎週火・金曜日)
 午後七時半~九時半
 会場 町総合福祉センター
 講師 長岡市 吉田 功氏
 申し込み 十一月五日(木)までに町教育委員会へ

62年11月分有線放送番組予定表

月・日	曜	タイトル	内容	放送者
11・2	月	普及所だより	今年の稲作について①	普及所
4	水	役場だより		役場
5	木	生活の窓	冬に向けての家庭看護	中央総合病院
6	金	学校だより	文化祭が終えて	塚山小学校
7	土	週間ニュース	ニュース、音楽	有放
9	月	営農だより	野鼠対策	岩塚農協
11	水	役場だより		役場
12	木	暮らしの窓	女性と電話	有放
13	金	マイク訪問	菊作りにはげまれる小林富一さん訪ねて	有放
14	土	週間ニュース	今週のニュース、音楽	有放
16	月	営農だより	今年の稲作をかえりみて②	普及所
18	水	農協だより		塚山農協
19	木	学校だより	読書感想文	越路中学校
20	金	防災だより	年末の防犯運動	役場 防災
21	土	週間ニュース	ニュース、音楽	有放
23	月	普及所だより	今年の稲作をかえりみて③	普及所
25	水	役場だより		役場
27	金	有放広場	冬場における生ゴミ処理(役場担当から話し)	有放
28	土	週間ニュース	今月の主なニュースから	有放
30	月	普及所だより	冬の鉢花の手入れ	普及所

1990年世界農林業センサス フルドレスプリテスト

63年1月1日現在で実施

10アール以上の経営耕地面積を 有する全ての世帯を対象に

農業をとりまく諸事情は、近年めまぐるしく変わり、特に、米の生産調整は農業の経営形態を大きく変化させつつあります。

十五年以降定期的に行い、農業がもつ重要課題やその使命、それらの推進・方策を見出す重要な役割を果たしてきた調査です。

この農林業センサスは、農林行政に必要な基礎資料を作成することを主目的に昭和二

昭和三十五年一月一日には、一九九〇年世界農林業センサスが全国一斉に行われます。



今回のフルドレスプリテストは、一九九〇年世界農林業センサスの適切かつ円滑な実施を図るため、調査の準備段階から実査・審査に至る一連の過程を試行

的に実施し、その全過程について実施の経過及び結果の検討を行い、本調査実施上の問題点を把握し、調査の企画、設計の資料とする本格的事前調査です。

調査の実施

1 農家調査

農家調査は、昭和六十三年一月一日現在で記入していただきます。一月十五日までに調査員がお伺いし調査票を回収いたします。また農家によって調査員がお聞きして記入する項目があります。

2 林家調査

林家調査は、住所地に山林を十アール以上保有する農家林家及び一筆当たり十アール以上保有する農家林家以外の林家について調査を行います。

越路町の三町村が選ばれ、経営耕地面積が十アール以上の全ての世帯が調査対象となります。

調査票は、十二月中旬に調査員が各世帯に配布しますので、一月一日現在で記入してください。世帯主が記入する欄と調査員が記入する欄があります。世帯主が出稼ぎしている農家では、あらかじめ配られた調査票を精読の上、出稼ぎ先と連絡をとり正確に記入してください。

記入上の約束

世帯主とは

世帯主とは、その家の生計上の責任者のことです。

世帯員とは

世帯員とする人: 出稼ぎ・行商など

世帯員としない人: 住み込みの人、入院、ふたんどき勤務を怠る人

受託者側の経営耕地とするもの

委託者側の経営耕地とするもの

従事日数の数え方

日数の数え方は、半日ずつ働いたら2日で1日と数えます。ただし、1日に8時間以上働いた場合でも1日と数えます。

自家農業以外の仕事

自家農業以外の仕事には、各種自営、つとめのほか、収入を得るために行った賃耕などの賃作業、請負作業も含めます。

収穫面積

収穫面積とは、過去1年間に収穫した作物ののべ面積をいう。

二十五か月の偉業を達成 県知事から「無火災表彰」



▲二十九台による一斉放水訓練
団員の前に掲げられた表彰旗

無火災はみんなの願いです。これからも火の取り扱いには充分気をつけたい防火に努めてください。



「わが家・わがまち」 交通事故防止運動

昭和62年12月31日まで

県内の交通事故は八月十一日から八月三十日まで二十日間連続して発生するなど史上最悪の記録となり昨年を大幅に上まわる事態となつています。これら多発している死亡事

故は運転者の前方不注意、いねむり、一時不停止等によってひき起こされていることに加え、歩行者の車の直前直後の横断、酷酔はいか、自転車利用者の交差点での一時不停止など基本的な交通ルールに欠けることによるものが大半をしめています。このような死亡事故の実態から、運転者、歩行者、県民一人ひとりが交通ルールを再認識し、交通安全意識を高め、てゆくことを目的とし、「わが家わがまち」交通事故防止運動が実施されることになりました。車の運転や自転車の運動、道路の横断などいつも緊張感を忘れないよう心がけてください。

交通安全 署名の実施

この運動の一環として「わが家・わがまち」交通安全署名が実施されます。多発している交通事故を防止するためには、県民一人ひとりが「自分の安全は自分で守る」ということをもう一度しっかり確認することが必要であります。このため、県民総ぐるみでこの運動に取り組み、交通安全に対する認識を新たにす



越路の子は小さいうちから交通ルールを身につけています

基本ルールに欠けた 交通事故が多くなっています

最近の消防は火を消す技術はもちろんですが、火災を起さないための予防消防に重点がおかれております。二十五か月間無火災を続けることは相当の努力が必要です。消防団員による各家庭に対する火の取扱いの指導、モデル部落の設定などによる防火意識の高揚、全戸に初期消火用の消火器設置など全町あげて防火に取り組んだ結果です。

二十五か月連続して無火災を達成した功績に対し越路町消防団に県知事から無火災表彰旗が贈られ、十月四日樹立式において来賓及び団員四百九十余名の前に深紅の表彰旗が披露され、予防活動の重大さを痛感していました。当日は町内の全消防ポンプ二十九台による放水訓練を行った後に表彰旗の樹立式が行われ、県の消防防災課長から新たに表彰旗が伝達され

ため、自ら署名していただくというものです。近々署名のお願いにありますが、家族全員の署名にご協力願います。

これからの 交通安全運動

夕暮れ時の 交通事故防止運動

運動期間
十月二十一日から十一月二十日まで

例年この時期に夕暮れから夜間にかけての交通事故が多発しています。車はライトの早期点灯、スピードダウンなど。自転車利用者はライトの早期点灯、交差点での安全確認。歩行者は安全を確認しての道路横断、明るい服装の着用などに努めてください。

年末年始の 交通事故防止運動

運動期間
十二月十一日から一月十日まで

例年、年末年始には飲酒運転や、道路状況の悪化等によるスリップ事故が多発しています。飲酒運転の追放、スリ

高齢者交通事故 防止県民運動

運動期間
昭和六十二年六月一日から
昭和六十三年三月三十一日
まで

この運動は高齢者の被害・加害事故ともに増加しているため、高齢者に対する思いやりや高齢者自らの安全意識の高揚により交通事故を防止していこうというものです。

交通警察官手記集①

おじいちゃんただいま

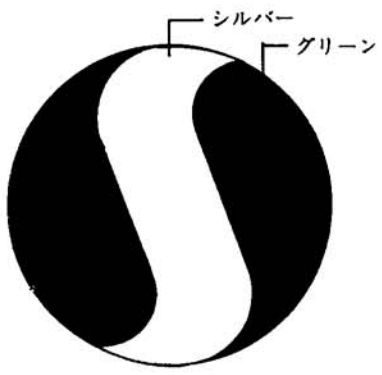
(新潟県警察本部発行より)

母の涙

村上分遣隊 関根 学

九月のある当直あけの日であった。電話のベルが、目覚し時計とならないことを願いつつ床に就いた。ウトウトと夢の世界へ入ろうかという矢先、その願いもむなしく、けたたましいの電話のベルが静寂を破った。時計は、午前一時をさしていた。

来た！ またか……。受話器の向こうから、



シルバーマークの普及

新潟県交通安全シルバーマーク(右図)が作成されました。このマークは高齢ドライバー

「死亡事故です。十七歳のバイク乗りが信号待ちのトラックに追突して即死です。お願いします。」

息せき切った当直員の声が、ガンガンひびいていた。現実に戻る自分を、はつきりと感じながら受話器を置いた。現場には、後のあおりを水平におろし、荷物を満載した四トントラックが、非常点滅灯を無造作に点滅させながら停車していた。バイクは、そのあおりの下にスッポリと入

が自ら車に貼ることにより、常に安全を心がけて運転することを自覚し、また、他の車もこのマークを貼っている車を見かけたら思いやりの気持を持つことにより交通事故の防止を願うというものです。希望者には無料でおわけします。役場総務課、消防防災係まで。

り込み、スタンドを立てたように止まっていた。その脇に白いヘルメットが、満天の星空のもと、青白く光って転がっていた。少年は、すでに病院へ運ばれた後だった。しかし、無残な、交通事故現場にはかわりはなかった。病院での見分を終わり、両親の到着を待った。午前三時。うす暗い病院の玄関に、年長いた両親は到着した。

すっかりした足取りであった。息子の死を知らされていらないようであった。その顔を見た時、これから来る悲しい対面の情景を思い浮かべると少年の死を告げる言葉はでなかつた。両親は、私に、「ケガの具合は？」と問いかけて来た。私は、先生に詳しいことを聞いて下さいと流れ出ようとする涙をこらえての、そ

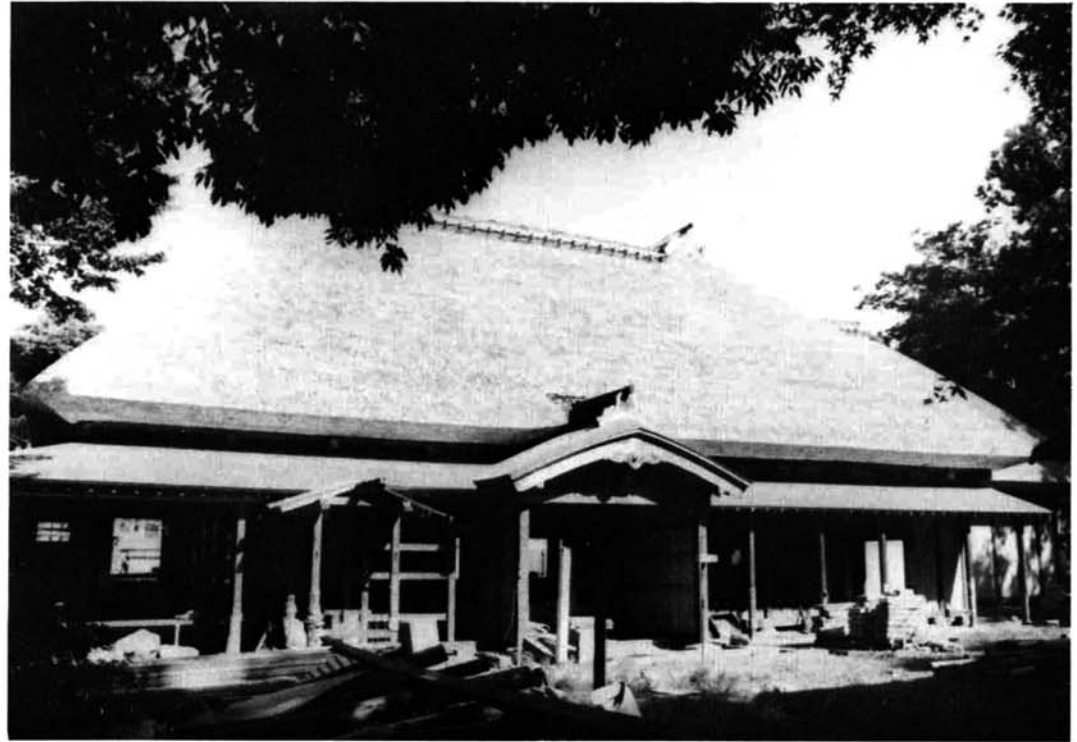
の一言が精一杯だった。両親は、看護婦に案内され、救急処置室に消えた。その後姿がふびんでならなかった。処置室の中での、予想される事態を考えると、いたたまれない気持ちであった。しかし、数分後、何事もなく処置室のドアは静かに開いた。少年を乗せたタンカは、音もなく霊安室へと向かった。その後、背を丸めた両親が続いた。霊安室でお棺を待つ間も、我々に礼を言うなど、しっかりとした態度は崩さなかった。息子の死を実感できないままのそれなのか……。しかし、その毅然とした態度も、納棺という現実の前に一挙に崩れた。息子の名前を呼びながら、自分も一緒に行く、と言って泣いた。やさしい母親の姿がそこにあった。

今にして思えば、丸めた背中、悲しみをこらえる精一杯の姿だったのかも知れない。お棺が我家へ帰る時も、満天の星空であった。私は、交通事故の悲惨さと、死という大変な出来事新ためて実感するとともに、満天の星空に、この少年が星となって、永遠に輝き続けることを、願わずにはいられなかった。

江戸時代の庄屋の邸宅

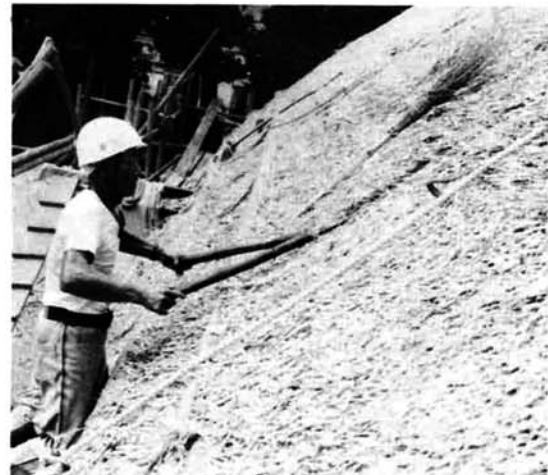
旧長谷川家住宅 (国指定)

茅ふき替え終る



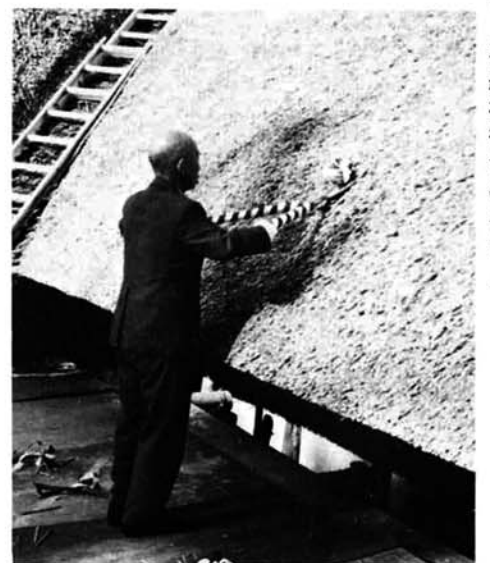
▲ 主屋正面 (西側)

昭和五十九年秋より大規模な修復工事にはいつていた重要文化財旧長谷川家住宅は、このほど最大事業と言われた主屋屋根(茅の厚さ九〇センチ、八八三坪)の茅葺き替え工事が終り、九月二十九日に上棟式が行われました。式には町長をはじめ同家の当主夫人、工事関係者など約四十人が参列。神事後、町長ら七人が最後のハサミを入れて仕上げを終了。これを祝



▲ 880㎡の屋根は大きなハサミで刈り揃える

う一方、六十四年秋の無事完成を祈りました。この工事には地元及び県外から取り寄せた約五千束の茅を使い、熟練技術者の手によ



▲ 最後のハサミを入れる町長

って復元させたもので、江戸時代の大庄屋の館が、次第に現れ始めました。

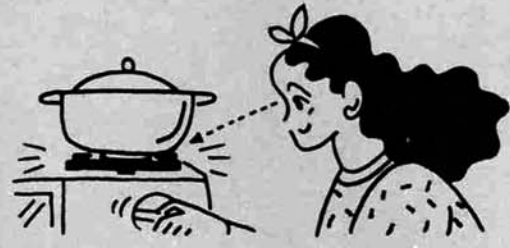


▲ 主屋背面 (東側) 下から茅をふき上がり、棟からハサミで化粧なおしをする。

11月はガス安全使用強調月間

ご家庭の安全 チェック&チェック

点火・消火は必ず目で確認



用説明書をよく読んでから使用するください。

● 点火、消火のときは必ず目で確認してください。

● 器具せんに半開の表示がないストープは、必ず全開でお使いください。

● ふろがまの点火前には、浴そうの水位と、浴そうのせんがしまっているかを確認し、からたきに注意ください。

● カーテンなど燃えやすいものがある場所での使用。てんぷらなどをあげているときの離場は危険です。特に注意ください。

● ガス漏れ警報器は有効期限がきたら取替えましょう。 ● お部屋の換気をしていますか!!

ガスは使い易いエネルギーとして暮しに活用されており、正しく安全に効率良く使用し事故防止に心がけ、毎日快適にすごしてください。 ● ガス器具の調整は完全ですか!!

いつも青いきれいな炎で燃えるように空気調整をしましょう。ガス器具を使用のとき炎のあふれ、器具の変色、器具の異状な過熱などがある場合には、役場企業課または指定工事店に点検修理を依頼してください、しろうと修理は危険です。

◎ 毎日正しくお使いですか!! ● ガス器具をご使用の際は使

町立保育所 入所児募集



▲ 地域の方々の協力によっておとしよりや自然とのふれあいを高めるためにさまざまな体験保育を実践しています。(塚保のいもほり)

昭和六十三年度の越路町立保育所児童の入所募集を次のとおり行います。(対象となる児童)

- △ 来迎寺保育所 一〇〇名
 - △ 塚山保育所 八〇名
 - △ 浦保育所 一二〇名
 - △ 岩塚保育所 一〇〇名
 - △ 白山保育所 九〇名
 - △ へき地保育所 五〇名
 - △ 石津保育所 六〇名
 - △ 中野島保育所 六〇名
- 十一月二十日から十一月三十日までに各保育所に申請書

● 小型湯沸器・開放型ストープなどの使用中は、ときどき窓をあけて換気してください。めあすは、一時間に一回一分程度です。

● 排気筒はときどき点検してください。とくに強風大雪のあとは外に出て排気筒のはずれやこわれがないか点検してください。

就学前の乳幼児で、家庭において当該児童を保育することができない者。ただし、へき地保育所においては、満三歳(昭和六十三年四月一日現在)以上の児童となります。(入所定員)

認可保育所

井上直樹氏(飯塚) 法務大臣表彰

多年にわたって人権擁護委員として在職し、国民の基本的人権の擁護と自由人権思想の普及高揚に貢献されたことにより、十月二日付をもって法務大臣から表彰されました。心からお祝いを申し上げます。今後とも一層のご活躍をお願いいたします。

自衛官募集中

防衛庁では、年間を通じて二等陸・海・空士を募集しています。採用予定月の一日現在18歳以上25歳未満の者。くわしくは、役場総務課へ。

みんなのスポーツ

健康は家庭の宝。スポーツで健康を!!

11月のスポーツカレンダー

- * スポーツ大会
- 第11回町民卓球大会.....11月1日(日) AM9:00~
勤労者会館 (十楽寺)
- 第3回町民バレーボール大会...11月1日(日) AM8:00~
町民体育館、越中体育館
- 第20回町民バドミントン大会...11月15日(日) AM8:30~
塚山中学校
- 第7回少年少女柔道大会.....11月29日(日) AM9:00~
町民体育館 問い合わせ先
来迎寺 稲川豊(☎92-2544)



午前10時5分に国道404号線小坂入口を一斉にスタート

大会成績

◆一般の部	◆壮年の部
1 塚中OB 1:28:41	1 飯塚公民館 1:41:22
2 セレクトナイン'87 1:30:27	2 前田 1:45:58
3 浦ガマンズA 1:35:35	3 がんばれ岩田の とうちゃんず 1:46:06
4 ヨネックス 1:38:14	4 浦ガマンズC 1:48:53
5 神谷兄会A 1:41:17	5 新学生会 1:50:01
6 朝日A 1:42:02	6 神谷兄会B 1:51:27
7 飯塚公民館B 1:42:11	7 東谷 1:51:51
8 浦上 1:42:18	8 朝日B 1:52:35
9 岩塚製菓 1:42:23	◆中学男子の部
10 飯島 1:43:26	1 塚山中学校 1:34:19
11 西野ランナーズ 1:48:00	2 越中選抜A 1:34:27
12 浦ガマンズB 1:49:22	3 越中選抜B 1:38:07
13 飯塚公民館A 1:52:24	4 越中陸上部B 1:40:55
14 岩野有志会 1:52:58	5 越中パーファイターズ 1:42:17
15 来迎寺農協 1:53:15	6 越中陸上部A 1:44:29
16 ザ・百姓 1:54:20	7 越中テニス部B 1:45:00
17 みのわの里 1:55:09	8 越中テニス部A 1:45:53
18 越路町役場 1:57:20	◆中学女子の部
19 朝日酒造 2:00:02	1 越中選抜 1:42:22
◆一般女子の部	2 塚山中学校 1:52:36
1 飯塚公民館 1:57:25	3 越中バスケ 1:53:32
2 浦ガマンズL 1:59:31	4 越中陸上バスケ 1:56:16

一口トリム

「みんなのスポーツ」とは？
特定の年齢・階層・性別・種
目に片寄らず、幼児からお年
寄りまでを対象に、健康づく
り、仲間づくり、地域づくり
をめざしたものです。

申し込み・問い
合わせは町教委
へ。 ☎92-4655
~各種大会や
教室のご案内~

第20回 町民バドミントン大会
出場者募集!!

日時	11月15日(日) 午前8時30分
会場	塚山中学校
参加資格	町内に居住もしくは勤務されて いる方で小学生以上
種目	・男子シングルス Aクラス・Bクラス・一般 の部・壮年の部・中学生の 部・小学生の部 ・女子シングルス Aクラス・一般の部・小学 生の部 ・ダブルス Aクラス・Bクラス ・クラブ対抗団体戦
申し込み	11月7日までに教育委員会か (92-4655) ヨネックス(株)内連盟事務局へ (94-2121)



沿道でのあたたかいご声援ありがとうございました!

第30回 町民駅伝大会

絶好な天候に恵まれた10月10日(体育の日)第30回目を迎えた町民駅伝大会が開催されました。今大会には一般女子2チーム含む41チーム485名が参加して午前10時5分ピストルを合図に国道404号線小坂入口を一斉にスタート。町内1周25.9キロメートルのコースを一般・中学の男子9名、壮年および女子が13名で継走いたしました。結果は、第1走者でトップをキープし、そのままゴールした塚中OBチームが圧倒的な強さで2年ぶりの総合優勝を果たしました。
なお、沿道で力走する選手にあたたかい声援を送っていた町民の皆様方ありがとうございました。



総合優勝した塚中OBチームの最終走者内山達郎さん

保健婦の

健康一口メモ

訪問看護日記⑪

老人クラブは、盆栽、書道、焼物などの趣味のクラブの他に、学習会、社会奉仕など幅広い活動を行なっています。その中で、ゲートボール、運動会などのスポーツにも年々関心が高まってきているように思います。町には、老人クラブと公民館共催の高齢者教室があります。その中の出張学習会は、地区単位で集会をもちます。当日は、日頃家にとじ込もっている友だちを誘ったり、足腰の悪い人には、手となり、足となつて会場へ大勢集まってきました。近くであるということ、老人にとつては、外出のよい機会となつてはいるようです。学習会では、講話と、その前の保健婦による健康教室が一時間あります。今年の学習会の目標は「友だちをつくり、明るい毎日を送りましょう。」となつています。健康教室では、実際に体を動かすことにより、自分の体になんか変化があるか、どんな気分になるかを観察することにしました。輪になつてゴム風船を床に落さないよう、つつつき合うゲームをやりました。まず五個の風船を肺活量の大きい人がふくらませます。それから皆で脈拍を数え、準備体操をして風船をつきます。脈拍を数えている時は神妙な顔をしていますが、いったん風船が飛び交うと、「それいくぞ」と気合いが入り、二個も風船が来ようものなら「ワアワア、キヤーキヤー」と大声が上がります。床に落さないよう一人ひとりが、一生懸命です。五分も過ぎると、顔が紅潮し、「アハハハ」と大笑いとなります。会場は風船をつく音、かけ声、笑い声がたえず、体の動きも活発になり熱気がこもります。「十分たちました。脈拍を数えましょう。」それぞれ、十増えた二十増えたといふ身軽になつた、気分が晴れ晴れしたと言ひ合っています。「これはいい運動だ、明日からばあーさんとやるか」「おら孫とやろう」「今度、富山

のくすり屋が来たら風船をいっぱいもらつておこう」と体を動かした後の快感や楽しさを十分味わつたようです。体力づくり、健康づくりが盛んなこの頃、乳幼児から老人に至るまで、どの時期においても、人は、体を動かしていただく方が、より健康を保たれるようです。年をとつたからと言って仕事を待たず、家中にもぐつていと足腰が弱くなり、ボケの原因ともなります。さあスポーツに、レクリエーションに大いに参加しましょう。

地力増進

堆肥センター完成

岩塚農業協同組合が事業主体となり、地区再編農業構造改善事業の一環として、国・県・町の補助を受けて工事を進めていた「地力増進施設」(堆肥センター)が完成し十月三日竣工式が行われました。(写真上)

近年農業の機械化と労働力不足で地力の低下が叫ばれて

おりませんが、この堆肥センターは畜産の廃棄物、きのこの廃床、稲殻等を利用して有機質の堆肥を生産し地力の増加を図つて農業生産性の安定的向上を図ろうとするものです。

文芸欄

課題「鏡」

つややかな鏡の前の喜寿の母
おてんばも鏡をのぞく年になり
幼子自分の泣き顔見てだまる
写る顔百面相を見る楽屋
生前の両親を鏡に生ける日々
鏡見て白髪母の髪をすく
鏡見て自分の顔が色男
水鏡写つた顔に蛙はね
鏡では写せぬ人の真心を
心の中写せる鏡あればいい
水鏡のぞくと二人写っている
代打陣鏡の前で素振する
幼な娘は鏡の前で母の真似

酒井 拓水
渡辺 ミエ
大野 玄老
野上 友風
鈴木 理咲
本田 菊水
佐藤山の男
牧口 信子
木村 鶴美
高井
おばさん
安全地帯
高橋 雪山

みのわの里
川柳を学ぶ会